

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 チャレンジびび		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和6年12月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和6年12月25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせた活動を提供して支援している。	一人ひとりのアセスメントを行い、それぞれに合う活動を提供している。無理なく進められるように留意している。	今後も丁寧なアセスメントの上で、適した活動を提供していく。 活動内容はSNSを活用して情報を収集し、取り入れて行く。
2	子どもたちの良い面や得意な面を見つけて褒めることで、自己肯定感につなげていること。	日々の活動の中で、小さな「できた」ことも褒めるように心掛けている。	今後も子どもたちの自己肯定感を高められるように、褒めることを続けて行く。また、成長段階に応じて役割を持った活動を提供することで自信につなげていきたい。
3	保護者と家庭環境を含めた情報を共有し、課題と一緒に考えながら支援している。	保護者との信頼関係を築けるように、丁寧に話を聞いている。	保護者支援の専門性を高められるように、地域の関係機関と連携し、社会資源についての知識を深めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会を提供することや、ペアレントトレーニングの取組みが不十分だと感じている。	コロナ禍で保護者会を中止していた。 専門的なペアレントトレーニングを提供できる研修を受けられていない。	今年度から再開した保護者会を継続していくことが必要。保護者同士が交流できるような内容を計画していく。ペアレントメンター研修の受講を進めて行く。
2	地域の関係機関との連携を強化する必要があると感じている。	保育所や他事業所と連携するための体制が取れていない。	保育所や他事業所との関係作りを進める。 連携を進める上での計画を作成し、実行する。
3	保護者との連絡機能の充実や、作業効率化のための効果的なICT導入に課題がある。	数あるソフトの中から適切なものを選ぶことの難しさを感じている。	連携している事業所から情報を得る。 インターネットでの情報収集を継続する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	チャレンジびび
------	---------

公表日 令和7年 2月 14日

利用児童数 14 回収数 14名

		チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0	教室、庭共に子供が遊べるスペースがしっかりと確保されていると思う。十分なスペースです。子供がはしゃぐ分には十分だと思います。	広いスペースを活かしたプログラムを展開していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0	しっかりと子供1人1人に対応できる人数だと思う。子供に対して適切な人数です。人数が多い分安心できます。1人1人とても丁寧に見てくれていて安心出来ます。	加配体制を取り、一人ひとりの状況に応じた対応をしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	0	必要な時に出すスタイルなのでムダな物が置いてあることがなくとても安全だと思う。	設備はバリアフリー化されている。絵カードやタイプライマーなどの視覚支援を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	14	0	0	0	全体的に綺麗さが保たれている。部屋は清潔で活動に合わせた空間です。いつもキレイでピカピカです。	感染症に対応した清掃を毎日行っている。使用しない物は療育室内には置かないようにしている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	1	専門性はわかりませんが子供のペースでやってくれていると思います。毎回子供が笑顔で行く姿を見ると、先生が大好きだと分かりとても嬉しい。	今年度からは一人ひとりの課題に対する専門的支援(個別支援)を開始している。今後も専門性を高めた支援の提供に努める。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0	特に不満に思ったことはありません	事業所で実際に提供している支援内容を公表している。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13	1	0	0	長所をしっかりと褒めてもらって満足。しっかりと話し合いをした上で考えてくださっています。	今後もご本人と保護者のニーズに沿って十分なアセスメントを行った上で、伸ばしたいことや課題に対応した計画を作成していく。
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	0	しっかりと話し合いをした上で考えてくださっています。	ガイドラインに示された支援内容から必要な項目を設定している。具体的に分かりやすい支援計画になるよう心掛けている。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0	遊びや運動をバランスよくやってもらっている。おかげさまで成長していると思う面がたくさんあります。	始業前に計画書を確認し、その日の支援内容に反映させている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	0	0	毎回色々先生たちが考えてくれ楽しませてくれています。今日は〇〇をしました!と色々なプログラムを組んでくれています。	運動や制作活動、日常生活動作の練習などを組み合わせている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	1	3	学童とはあるけど(ハロウィンイベント)同じくらいの年代の子もたちとの交流はない。あると良いと思う。	児童館や公園で交流する機会はある。今後は地域の保育園との交流を進めて行く。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0	とても丁寧でありました。	契約時に書面を提示し読み合わせを行いながら説明をしている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0	一緒に考えながら出来ました。	支援計画の内容を説明し、確認をしていたいている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	0	1	2	都合により参加できませんでしたが先輩ママさんと交流する機会があるのはいい。	年に2回の活動参観を実施し、事業所での関り方等をお伝えしている。ペアレントトレーニングは今後強化すべき課題としてペアレントメンター研修の受講を検討している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14	0	0	0	面談などで話しているので共有できていると思います。基本的に毎朝の確認帰りに報告してくださり助かります。帰り先生から様子を聞けるのがとても楽しみです。	連絡帳への記入と引き渡し時に口頭で伝えていく。必要に応じてご家庭の様子の聞き取りをしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0	定期的に面談で先生と話支援してくれている。定期プラスお時間をつくってくださるのでとても助かります。	半年に一度の面談を実施している。その他にもご希望に応じて随時面談を実施し、課題に対する相談・助言を行っている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0	子供にも親にも寄り添ってくれています。	その時々気持ちや行動を受け入れて対応するように努めている。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	1	1	コロナのせいもあって保護者の事がわかりません。先日初めて保護者会に参加し放デイびびの方との交流の機会がありました。先輩方の話が聞けて良かったです。都合により参加できませんでしたが先輩ママさんと交流する機会があるのはいい。	コロナ禍で中止していた保護者会を再開した。今後も研修会やワークショップを兼ねた保護者会を定期的に開催していく。きょうだいへの支援は今後強化すべき課題として検討を進めて行く。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	0		契約時に対応の体制を説明している。ご意見や相談の申し入れに対しては迅速に対応し、職員に共有している。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0	連絡帳や口頭でしっかり教えてもらえるので嬉しいです。	一人ひとりの特性や状況に応じて対応している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	0	1	毎月通信で見られるので安心です。	「びび通信」を毎月発行するとともにホームページで活動の様子を伝えている。自己評価の結果は保護者に配布し、ホームページで公表している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1		個人情報保護規定に基づき適正に管理している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	1	訓練日があるので大丈夫だと思っています。	マニュアルを策定し、周知している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1	子供から避難訓練をしたと報告を受けているためしっかり訓練していただいていると感じる定期的に訓練していると思います。訓練日があるので大丈夫だと思っています。	月に一度の避難訓練を実施している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1	先生の人数もはっきりしてくれているので安心だと思います。	安全計画を策定し、周知している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	0	3	お迎えの際その日にやった事や転んでケガした事等しっかりと報告をもらっている。対応は不十分です。支払いもされません。経験がないので大丈夫と思います。	事故等が発生した場合は速やかに保護者に連絡を入れ、状況等の説明をしている。今回、保険会社へ怪我の報告を行っていたが、対応が遅く、保護者様に不快な思いをさせてしまったことを反省している。今後は保険会社への報告後に密に連絡を取るなどの対応を行っていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	先生方には安心感を持っていると思います。甘えたりしているので。毎回嬉しそうに行っています。	今後も安心して通所していただける環境作りに努める。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	何よりもびびびに行く事を楽しみにしている。楽しみにしています。先生も楽しませようと色々やってくれるし身体いっぱいたくさん遊べれるので。毎回嬉しそうに行っています。	一人ひとりが楽しめるように、ニーズを重視した支援プログラムを提供していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	満足しています！子供も楽しく通えていて先生も子供のことを理解してくれているので安心して預けています。大満足です！	ご本人と保護者の気持ちに寄り添い、満足していただける支援を提供できるよう研鑽を積んでいく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		チャレンジびび		公表日 令和7年 2月 14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容に合わせて机の配置を変えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	加配体制を取り、一人ひとりの状況に応じた支援をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	設備はバリアフリー化されている。絵カードやタイムタイマーの使用などの視覚支援を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	療育後の清掃は除菌水を使用して適切に行っている。おもちゃや制作活動の道具などは使用時以外は倉庫にしまっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	部屋の隅をクールダウンするための場所としている。	クールダウンができる空間の確保が課題となっている。部屋を仕切る等の工夫を検討していくことが必要。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	全職員が参加するミーティングで目標設定と振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に一度アンケート調査を実施し、その結果を踏まえて業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の振り返りやミーティングで職員の意見を出して業務改善につなげている。	積極的に意見を出せる環境作りを進めていくことが必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第三者評価は現在実施していない。今後検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部研修の情報を共有し参加者を募っている。受講してきた職員がミーティングで伝達研修を行っている。その他、法人内研修も実施されている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	支援プログラムを作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントを適切に行い、ご本人・保護者のニーズや課題を分析した上で計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	サービス担当者会議を開催し、ご本人にとって最善の計画になるよう検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画は職員間で共有し、支援前に確認を行い療育プログラムに反映させている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の行動観察で発達状況を確認するとともに、アセスメントツールを使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	児童発達支援ガイドラインのねらいや支援内容を踏まえて、サービス計画を作成している。具体的に分かりやすい支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	日々の活動状況を共有している。支援開始前の打ち合わせでプログラムを決めている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	その日の利用児に合わせてプログラムを変えている。	インターネットやSNSでの情報収集を行い、幅広い活動ができるように努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動と集団活動を組み合わせ、ご本人が楽しみながら充実した時間を過ごせるように計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援開始前に打合せを行い、個々の課題とプログラムの流れを確認している。	送迎の出発時間が早い場合は全員で打合せができない日がある。送迎の組み方等工夫をすることが必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	毎日振り返りを行い、気付いた点などの共有をしている。	職員の支援方法の良い点や改善点についても自由に発言できる環境を作ることが必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	保護者への連絡帳の記入とともに、業務日誌や個人の記録を残し、支援の検証や改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に1度以上モニタリングを行い、見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	子どもの状況を把握した責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	保健センターや子ども家庭支援センターとの連携はできている。	保育園・幼稚園・他事業所との連携を積極的に行うことで、利用児への支援の方向性を統一することが必要。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	併行利用や移行がスムーズに行えるように、保護者と相談をしながら支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	5	小学校までの連携は出来ていない。	今後は支援状況シートを作成して情報共有を行う。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	児童発達支援センターが開催する研修を受けている。	今後は助言を受ける機会を設けたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	なるべく児童館などの地域の中に行こうと努めているがコロナ後あまりできていない。ハロウィンまつりなど学童と合同で行っている。	地域の関係機関との連携を強化して、一緒に活動できる機会を増やす。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	連絡帳でのやり取りや、送迎時などに情報交換を行っている。	課題についても正しく伝えて行くことが必要。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	年に2回、活動参観を実施している。その中で関わり方のアドバイスや提案をしている。	ペアレントトレーニング研修を実施できるように職員のペアレントメンター研修の重工を検討している。八王子市が開催している保護者向けの研修の情報提供もお今後行っていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に重要事項説明書の読み合わせをしながら丁寧に説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	計画の作成に先立って、保護者面談を実施している。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	計画を示しながら支援内容を説明し、確認していただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	半年に一度の面談の他にも、日々相談に応じ、助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	コロナ禍で中止していた保護者会を再開した。ワークショップと懇談会で保護者同士の交流ができた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情対応の体制は、整備して保護者に周知している。苦情があった場合は迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	「びび通信」を毎月発行し、活動内容や行事予定を発信している。ホームページにも活動の様子を載せている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報保護規定に基づき適正に管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	説明は分かりやすいことばで、ゆっくり丁寧に伝えるように心掛けている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	11月に開催した作品展には地域の方を招いた。外掲示には、個人が特定できないよう加工した上で「びび通信」を掲示して活動の内容を知らせている。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し、周知している。訓練も実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し、月に1度の訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に聞き取りを行い、服薬状況やてんかん発作時の対応等について確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	現在該当している利用児はいないが、毎年アレルギー調査を行っており、該当児には医師の指示書の提出を求めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を策定し、周知している。必要な研修や訓練も実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画を策定し、保護者への周知を行った。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	少しでも危険と感じた事象はヒヤリハットを記入し、再発防止対策について職員で検討・共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置し、年に3回の研修の実施と、虐待防止チェックリストの記入を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	現在該当する利用児はいないが、「身体拘束適正化のための指針」を策定し、研修を実施している。身体拘束が必要なケースが発生した場合は、事前に説明をし了解を得て記録に記載する。	